

記者発表事項

令和3年6月30日

発表事項	新時代ヘルスケア基盤整備事業の実施について
概要	<p>延岡市は内閣府が進めるスーパーシティ構想に応募しており、本市のDX(デジタルトランスフォーメーション)を推進していく中で、健康的な生活習慣の促進を目的としたのべおか健康マイレージアプリを6月より開始しました。</p> <p>しかし、現時点で医療分野における本市独自のPHR(パーソナルヘルスレコード)の仕組みがありません。また、コロナの感染予防の影響による健康状態や認知機能の悪化も懸念されます。</p> <p>そこで対策として、新規事業として新時代ヘルスケア基盤整備事業を実施することとし、公募型プロポーザルなどを経て事業の全体的な構造を策定しました。</p> <p>つきましては実施に先立ち、事業の構造やスーパーシティ構想との関連性、期待される成果などを公表させていただきます。なお、特に下記の(1)(2)の事業は全国的にも類似事例が非常に少なく、先駆的な取り組みとなります。</p> <p><新時代ヘルスケア基盤整備事業における事業の概略></p> <ul style="list-style-type: none">(1) 市内店舗内での検査実施による、健診未受診者の重症化予防(2) 電話調査による認知機能低下の発見・軽度認知障害の予防(3) 事業(2)の該当者に対する、市負担によるMRI検査の実施(4) 電力センサーなどによる高齢者見守りシステム実証の拡充(5) 自身の検査結果を閲覧できるPHRシステムおよび医療機関向けシステムの構築 <p>※詳細は別添する資料をご参照ください。</p> <p><開始時期></p> <p>対象者への案内送付などの具体的な事業開始は8月を予定しています。</p> <p><総事業費(予算額)></p> <p>95,908千円</p> <p>本事業は新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を用いて実施されます。</p>
担当課	延岡市 健康福祉部 健康長寿のまちづくり課 担当 岩佐、小原 内線 2752 TEL 22-7088

事業の概要図

将来的に重症化する リスクが高い人

対象：約 7,500 名
年代：42 - 84 歳

(①特定健診(国保・後期)を
過去3年で未受診、②高血圧・
糖尿病・脂質異常症の服薬な
し、など)

認知機能に関する 調査が特に必要な方

対象：約 15,000 名
年代：75 歳以上

(①施設入所等による見守
りが行われていない、②電話
による調査が可能な方など)

希望者に実施する内容

血液検査(自己採血)による、
生活習慣病に関する諸項目の検査

特徴

買い物のついでに検査を
受けられるようにする点など

協力予定店舗

イオン系列店 (4 店舗)
コスモス薬品 (9 店舗)



8 月以降に案内を発送予定

希望者に実施する内容

- ①質問票によるフレイルチェック
- ②電話調査による認知機能チェック
(あたまの健康チェック®を使用)

特徴

自治体の先行事例でも見られない
規模の認知機能調査を実施する点

見込み

3 ~ 5 割の方が MCI(軽度認知障害)
の水準に該当すると見込まれる

(結果を登録)

(一部対象者)

(成果 1) かかりつけ医を持つ人の増加

(成果 2) 重症化を予防

(成果 3) 特定健診受診率の向上

PHR システムの導入



アプリ「ウィズウェルネス」の案内による
市民への PHR(パーソナルヘルスレコード)の導入

医療機関向け「医's アシスト」の導入支援

DX・スーパーシティ構想を
見据えた情報基盤の整備

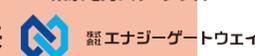
(成果 4) 認知症に移行する方の抑制

MRI による追加検査

電力等の非接触センシングによる実証



アプリによる見守りシステムの提供



生活パターンから認知機能低下等を予
測・説明するモデルの構築 (今後の施策・ス
ーパーシティ構想での活用)



＜スーパーシティ構想における本事業の位置づけ＞

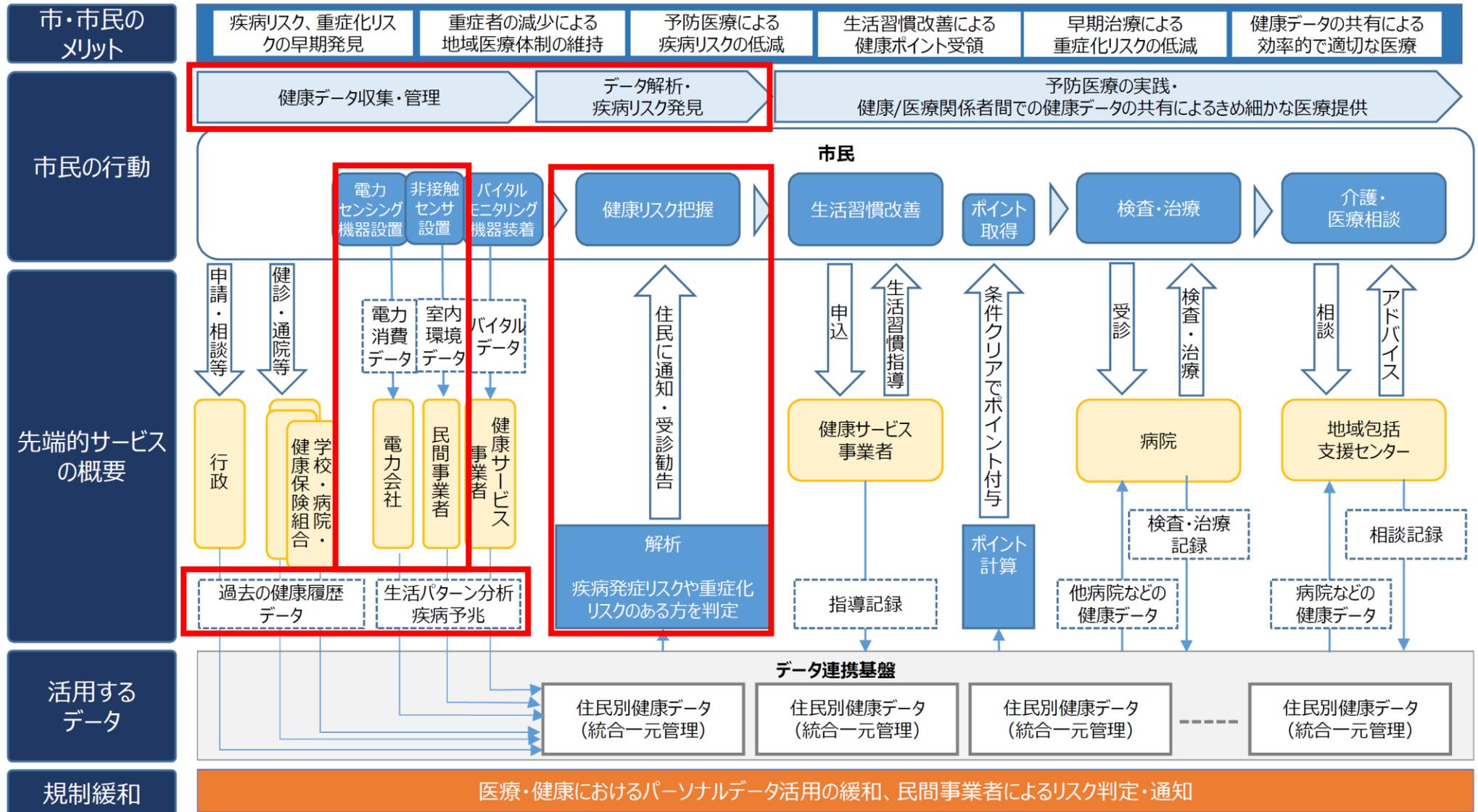
本事業は、延岡市スーパーシティ構想で掲げる12の先端的サービスのうち、⑥・⑦の実現につながっていく取り組みです。

<p>1</p> <p>「学びEポートフォリオ」の導入・運用により学習指導要領の弾力的運用等も含めた「学びの個別最適化」支援サービス</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・教育 <p>個性をのびし みんなが輝く</p> <p>学びのデータを生徒・保護者に帰属させ、一人ひとりに合った学びを提供</p>	<p>2</p> <p>「学びEポートフォリオ」の導入・運用による「学校の枠を超えて社会と繋がる学び」支援サービス</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・教育 ・防災 ・産業 <p>子どもと大人が 共に学びあう</p> <p>学校の枠を超えて子どもと大人が学びにつながる</p>	<p>3</p> <p>国内外の多様な人材による新たな同時双方向遠隔授業及び市教育委員会による特別教員免許発行</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・教育 ・行政 <p>画面の向こうに 繋がる教室</p> <p>同時双方向遠隔授業の規制緩和による誰一人取り残さない新しい教育</p>	<p>4</p> <p>心身の変化等の把握・分析による「子どもの心の声」に応える見守りサービス</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・教育 ・医療 ・防犯 <p>子どもの「心の声」 をキャッチ</p> <p>教育と健康分野のデータ連携による子どもの見守り</p>
<p>5</p> <p>「被災状況シミュレーター」による災害想定・仮想防災訓練サービス及び避難情報・避難場所情報提供サービス</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・防災 ・教育 ・医療・介護 <p>逃げ遅れゼロ を実現</p> <p>平常時の学び・訓練と非常時の情報提供</p>	<p>6</p> <p>健康・生活習慣のライフコースデータにもとづく生活習慣病や認知症等の発症リスク・重症化リスクの判定・通知サービス</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・医療・服薬 ・行政 <p>未然に防いで 100歳まで健康</p> <p>データに基づく早期対策で健康寿命を延ばす</p>	<p>7</p> <p>生活パターン分析を基にしたアウトリーチ的な生活パターン改善助言サービス</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・医療 ・行政 ・エネルギー <p>きめ細かな予防や 地域包括ケア</p> <p>生活パターンの分析、AIによる健康な生活への提案</p>	<p>8</p> <p>行動パターン分析にもとづく公共交通等の最適化サービス</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・交通 ・物流 ・支払い ・防災 <p>脱炭素 脱マイカー</p> <p>ライフスタイル解析による最適な公共交通の実現</p>
<p>9</p> <p>製造業が集積するエリアのスマート化サービス</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・産業 ・医療 ・教育 <p>ものづくりのまち がもっと豊かに</p> <p>5G、AI、IoT、VR、ロボット、ドローン等を活用した産業競争力強化</p>	<p>10</p> <p>企業価値の「見える化」による円滑な事業承継・技術支援サービス</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・産業 <p>匠の技術を 次世代に</p> <p>データ連携を活用した事業承継マッチング</p>	<p>11</p> <p>行動変容・行動誘発に寄与する地域ポイント活用サービス</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・支払い ・行政 ・教育 ・環境 ・移動 ・医療・介護 ・エネルギー <p>お得な キャッシュレス シティ</p> <p>環境活動やSDGs活動へのポイント付与とキャッシュレスシティ化</p>	<p>12</p> <p>行政手続きオンライン化・DX化サービス</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・行政 ・防災 <p>忙しいあなたに 合ったサービスを</p> <p>最先端のバーチャル市役所構築</p>

(「延岡市スーパーシティ構想」内閣府提出資料より)

先端的サービスのイメージ図と照らし合わせると、

医療・健康分野における前半部分（データの収集・管理とデータ解析・疾病リスク発見）を担うものとなります。



(「延岡市スーパーシティ構想」内閣府提出資料より)

事業ごとの受託・再委託予定事業者

事業	受託事業者、	再委託予定事業者
市内店舗内での検査実施による、健診未受診者の重症化予防	合同会社 H.U.グループ 中央研究所 (株)セルメスタ	イオン九州(株) (株)コスモス薬品
電話調査による認知機能低下の発見・軽度認知障害の予防		セントケア・グループ (株)ミレニア センコービジネスサポート(株)
認知機能調査の該当者に対する、市負担によるMRI検査の実施	(一社)延岡市医師会	
電力センサーなどによる高齢者見守りシステム実証の拡充	東京電力パワーグリッド(株) (株)エナジーゲートウェイ	
自身の検査結果を閲覧できるPHRシステムの構築	(株)医針盤	
疾病リスク等の調査分析	国立循環器病研究センター (※)	

※委託契約ではなく、連携協定に基づく協力体制により実施される予定

(1) 市内店舗内での検査実施による、健診未受診者の重症化予防

<事業実施の背景>

新型コロナウイルスでは基礎疾患のある人が重症化しやすい傾向にあります。また、生活習慣病を早期に治療しないとその病気自体も重症化しやすいですが、健診を未受診だったりすると、リスクを把握できません。

<事業実施の概要>

特定健診を未受診である主因が「医療機関にかかる時間がない」「かかりつけ医を持たないので健診だけに足が向かない」と推察し、市内の店舗で買い物ついでに検査を受けられるようにすることで、受診しない理由の解消を図ります。

また、検査結果の通知とともに受診を促すことで、①重症化の予防、②かかりつけ医を持つ人を増やす、③特定健診の受診率の底上げといった効果を図ります。

<具体的な内容>

- (1) 8月～10月にかけて、段階的に対象者に案内を送付
- (2) 受診する人は、市内のコスモス薬品(9店舗)イオン系列(4店舗※1)に行き、店舗内のコーナーでガイドを受けながら自己採血する(※2)。
- (3) 検査結果は郵送されるほか、PHR アプリ「ウィズウェルネス」に登録することでスマートフォンでも閲覧可能となります。

※1：イオン延岡店、多々良店、マックスバリュ岡富店、ホームワイド出北店。

マックスバリュ南延岡店は対象外です。なお、コスモス薬品は市内全店が対象

※2：店員が採血すると医師法に抵触するため、自己採血となります。

<事業の対象>

約7,500名：市国保特定健診・後期医療健診の受診対象者のうち、過去3年間に受診歴がなく、昨年度に生活習慣病(高血圧・糖尿病・脂質異常症)での服薬も確認されない方。

<その他>

この事業での検査は特定健診の代替とはならないため、来年度以降については、かかりつけ医を持ってもらい、そこで受けてもらうことを想定しています。

地区等により案内の同封物を変えることで、検査の応諾率を分析し、今後の受診勧奨などに活用していきます。

(2) 電話調査による認知機能低下の発見・軽度認知障害の予防

<事業実施の背景>

一般に認知症になると治療・回復は困難ですが、軽度認知障害(MCI)の段階であれば認知機能は正常域まで回復することが可能です。そのため、早期に発見することが重要ですが、同居家族でも気付くことは難しく、現在の特定健診なども発見するような仕組みとはなっておりません。

<具体的な内容>

8月に対象者に案内文と問診票などを送付し、調査を希望した方に対し、コールセンターから電話をして10～15分程度の調査(※)を実施します。調査は12月頃まで継続的に実施される予定です。

検査結果は希望すれば調査終了直後にも確認が可能。結果は郵送されるほか、PHR アプリ「ウィズウェルネス」に登録すればスマートフォンでも閲覧可能となります。アプリ上で手続きをすれば、家族も閲覧可能です。

※今回の調査は、セントケア・グループ株式会社ミレニアの「あたまの健康チェック®」を使用します。

<事業の対象>

約15,000名：R4.3.31時点で75歳になる市民のうち、電話による調査が可能であり、施設入所等による見守りがされていない方。

<期待される事業の効果>

延岡市が平成29年度に行った同様の調査では約30%、尾張旭市が行った調査では約50%の方が軽度認知障害(MCI)の水準と判断されたため、今回も同程度の方に認知機能の低下が見つかるものと考えられます。

想定では、500名程度の方の認知症の発症を予防し、500名程度の方の発症を遅らせることができると考えております。

<その他>

この検査は病名の診断には至らないため、かかりつけ医や専門医への受診を促し、一定水準の低下が見られる方は、(3)のMRI検査を実施します。

来年度以降の継続的な事業実施については、今回の事業の結果を踏まえて規模や対象などを検討していきます。

(3) 事業(2)の該当者に対する、市負担によるMRI検査の実施

<具体的な内容>

認知機能の電話調査で一定水準以上の認知機能の低下が見られる方を対象として、希望者に追加でMRI検査を実施します。検査は延岡市医師会の協力によって市内医療機関で行われ、検査費用は市が負担します。

規模は100名程度を想定しております。

(4) 電力センサーなどによる高齢者見守りシステム実証の拡充

<事業実施の背景>

認知機能の電話調査でもふれたように、認知機能の低下をどれだけ早期に発見できるかは今後の高齢社会の中で喫緊の課題ですが、電話調査などの調査に応じない人は発見できないという課題もあります。常時の電力センサーによるセンシングにより、認知機能の低下を早期に発見することができるようになります。

<これまでの実証>

延岡市では令和元年度から、国立循環器病研究センター・東京電力パワーグリッド(株)・(株)エナジーゲートウェイと共同で、認知機能の低下に関する実証実験を約90世帯で実施しています。今回は、さらに100世帯ほどに実証への協力をお願いすることで、予測モデルを早期に構築し、社会実装をめざすものです。

<具体的な内容>

実証では室内に設置する電力センサー等の非接触センサーにより室内の環境データを収集し、認知機能の低下等と関連のある室内の環境の変化点を探ります。参加者は、主な家電製品ごとの電力の使用状況を確認できるほか、一定の家電不使用などによる家族への見守り通知のサービスを受けることができます。

<スーパーシティ構想との関連>

また、延岡市のスーパーシティ構想においても、非接触センサーを活用して自宅で負担感なく行える①見守りシステム、②生活パターンの改善助言サービスの構築をうたっており、今回の実証はその実装につながるものでもあります。

(5) 自身の検査結果を閲覧できる PHR システムと医療機関向けシステムの構築

<事業実施の背景>

延岡市は内閣府が進めるスーパーシティ構想に応募をしており、本市の DX(デジタルトランスフォーメーション)を推進していく中で、健康的な生活習慣の促進を目的としたのべおか健康マイレージアプリを6月より開始しました。しかし、現時点で医療分野における本市独自の PHR(パーソナルヘルスレコード)といった仕組みがありません。

<具体的な内容>

個人向け PHR システムであるウィズウェルネス(以下、アプリ)および医療機関向けの診療業務支援システムである医'S アシストを導入します。

- (i) (1)(2)の検査希望者に対してアプリの導入を促していきます。
- (ii) これまでの紙媒体での受診結果もアプリに取り込めることから、今回の検査対象者以外の市民にもアプリの利用を広げていきます。
- (iii) 10 程度の医療機関を対象として医'S アシストの初期導入費用を市が負担することで、アプリが活用できる場面を増やしていきます。また、診療予約システムの機能なども搭載していることから、医療機関の事務的な負担軽減につながることも目指していきます。

<スーパーシティ構想との関連>

スーパーシティ構想におけるデータの利活用は、個人の同意(オプトイン)に基づくことが原則となります。今回の事業において、検査を受ける同意とは別にデータの利活用に関する同意を求めることにより、今後の構想の具体的な展開につながる取り組みともなります。